

# ことねぎだより

NO.224

2026年1月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP

4A



新年あけましておめでとうございます。  
本年も皆様にとって良い年になる事を  
祈念致します。  
今年の日本一シリーズは「始末の心」です。  
物事を無駄にせず、最後まで大切に使い切る精神。  
感謝と創意工夫の心を持って仕事に当たりましょう。  
今年も宜しくお願ひ致します。  
山田 敏詩

## こと京都人宣言 葱

ことグループを創る、私たちの「らしさ」

- 一、相手が誰であれ、温かみのある笑顔で接します
- 二、お互いを認め合い、異なる考え方を排除しません
- 三、挑戦し続け、どのような状況でも楽しみながら成長します
- 四、問題は自分に原因があると考え、他人を責めません
- 五、落ちているゴミは拾い、困っている仲間がいいたら助けます
- 六、全ての物事への感謝の心を、いつも忘れません
- 七、品格ある農業者となり、日本の農業新時代を開きます

### 今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

### 育った環境を振り返る、旬の冬葱のお届けです

京都市内と亀岡で育った冬葱をメインにお届け。夏前に定植し、記録的な酷暑の中、その過酷な夏をじっと耐え抜いてきました。もともと乾燥に強いですが、近年の極端な気候変化は大きなストレスとなっています。農人一同、例年以上にこまめな葉面追肥を行い一株一株の体力を支えるケアに注力しました。その甲斐あって、秋からの涼風とともにねぎは一気に生育しました。自然の厳しさを知るからこそ良さが引き出され、冬の寒さでグッと甘みがのった旬の冬葱をお楽しみください。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

### 冬の恵の雨と、春に向けての苗づくり

今年の冬は、例年に比べると雨の中での収穫が少なく、少しホッとしています。とはいえ、鮮度第一で毎日出荷しているため、雨が続けても収穫を休むことはできません。冷たい冬の雨に打たれながらの作業は、農人にとっても試練の連続。カッパの下で震えながら、「美味しいねぎを届けたい」という一心で踏ん張っています。健康管理も、農業のプロの仕事の一つ。しっかり食べて、しっかり寝て、毎日畑に立っています。来年の春に定植をするための播種作業を美山ハウスで行いました。冬の間は気温が大きく下がります。苗たちの健全な生育環境を守る目的で、ハウス内ではストーブを使用して加温管理を行っています。そして、12月の年内最後の定植と被覆作業が完了しました。収穫は来年の春先の5月。約半年間という、一番長いお世話期間が始まりました。厳しい寒さを乗り越えて、春に力強いねぎが育つよう、これからもしっかりと管理を続けていきます。



#### とある日の農人日記。

12月初旬、京都盆地の底冷え。霜の降る回数が増え、葉先の折れや黄化による劣化が圃場によっては一部見受けられました。葉面追肥の作業を実施し、回復傾向が見えるまでケアをしていきます。（京都市内・池島）

●ことグループの日本一シリーズについて  
毎年ことグループスタッフ全員で「今年はこのテーマで日本一と言われるように取り組もう！」と決めている目標です。  
昨年は「農業生産力」を掲げました。例年になく異常気象や自然環境の中でも、これまでの学びを糧に品質の良いねぎづくりに励むことができました。より良いねぎづくりに務めて参ります。